

英語レベル「上級」では、年収1,000万円以上が約60% 英語レベルと年収の高さに相関関係

— 英語レベルと年収 実態調査 —

日本最大級のグローバル人材に特化した人材紹介・人材派遣会社のエンワールド・ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：ヴィジエイ・ディオール）は、エンワールド・ジャパンのサービス登録者で、現在、正社員で働いている方（※1）を対象に「英語レベルと年収」についてアンケートを行い、1,928名から回答を得ました。 ※1 英語を母国語とする方を除く

調査結果 概要

- 英語レベル「上級」では年収1,000万円以上が約60%。「初級」では約10%
- 英語レベル「ビジネス」以上と「中級」以下で、英語を使う業務の幅に大きな差
社内会議での英語使用は「ビジネス」で60%以上、「中級」では30%未満

調査結果 詳細

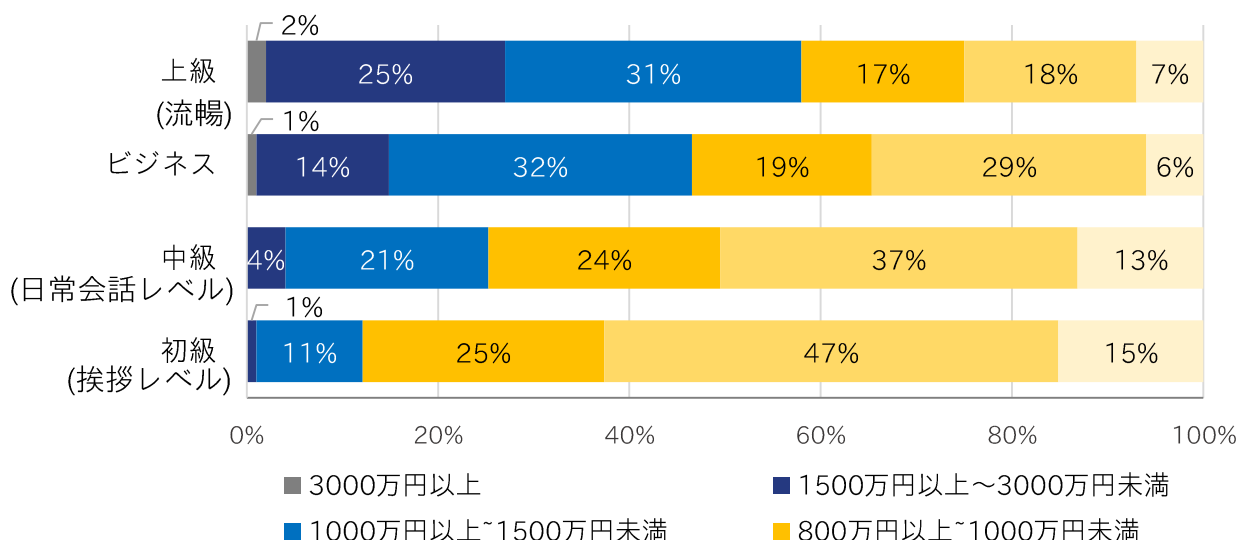
1. 英語レベル「上級」では、年収1,000万円以上が約60%。「初級」では約10% (図1)

現在の年収を伺うと、英語レベル「上級」(流暢)では約60%が1,000万円以上と回答しました。一方、英語レベル「初級」(挨拶レベル)では約10%に留まり、約50ポイントの差となりました。英語レベルが上がるほど、年収の高い割合が大きくなる相関関係がみられました。

国税庁が令和元年9月に発表した「平成30年分 民間給与実態統計調査」(※2)では、年収1,000万円以上は給与所得者の5%でしたが、エンワールド・ジャパンが対象とするミドル～ハイクラスの英語レベルが「上級」のグローバル人材では、その約12倍の結果となりました。

※2「平成30年分 民間給与実態統計調査」国税庁 <https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/minkan2018/pdf/001.pdf>

【図1】現在の年収を教えてください。



*小数点第一位を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合があります。

本ニュースリリースに関する問合せ先

エンワールド・ジャパン株式会社

<https://www.enworld.com/>

広報担当

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン12階

TEL:03-4578-3521 FAX:03-6214-3023

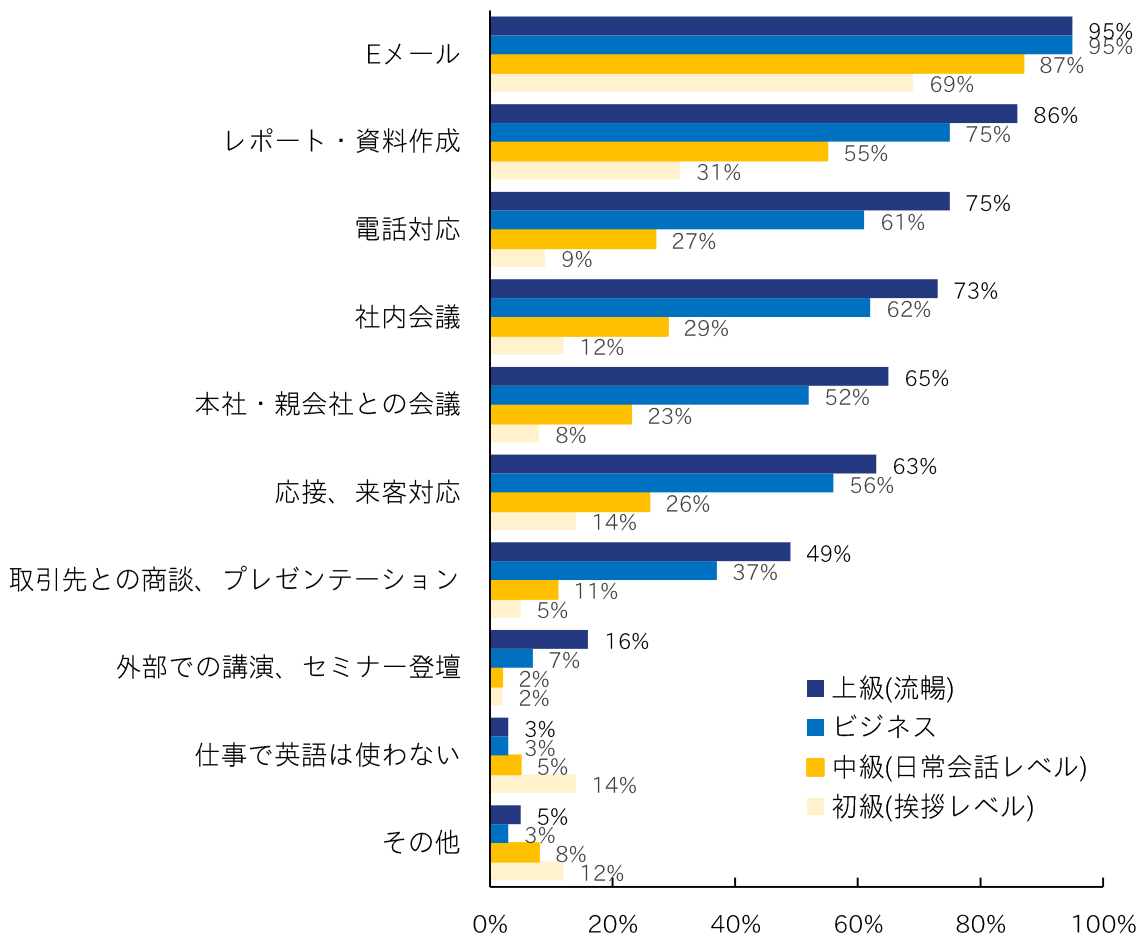
Email: enworld-pr@enworld.com

2. 英語レベル「ビジネス」以上と「中級」以下で、英語を使う業務の幅に大きな差。
社内会議での英語使用は「ビジネス」で60%以上、「中級」では30%未満。(図2)

「仕事のどの様なシーンで英語を使用しますか。」と伺うと、英語レベル「ビジネス」以上では、多数の方が「電話対応」、「社内会議」など人との対話が必要な業務を行っていました。一方、「中級」で過半数を上回ったのは、「Eメール」、「レポート・資料作成」となり、読み書きが中心であることが分かります。日常業務である「社内会議」での英語使用は「ビジネス」で約6割なのに対し、「中級」では3割未満にとどまりました。

英語が使えることで職務の範囲が広がり、その結果として給与水準や年収アップにつながっていることが推察されます。

【図2】仕事のどの様なシーンで英語を使用しますか。(複数回答可)



【調査概要】

調査方法：インターネット調査

調査地域：全国

英語レベル：初級（挨拶レベル）16%、中級（日常会話レベル）23%、ビジネス 38%、
上級（流暢） 22% *小数点第一位を四捨五入しているため、合計は100%にならない

調査実施期間：2020年1月30日～2月2日

エンワールド・ジャパン (<https://www.enworld.com/>)